

**タイガー史上最高の注ぎ心地
蒸気レス電気ケトルPCZ-A080 新製品発表会を開催
UCCコーヒーアカデミー講師 福田雄也氏が登壇**

熱制御テクノロジーで世界をリードするタイガー魔法瓶株式会社（CEO：菊池嘉聡、本社：大阪府門真市）は、2026年10月1日（木）に、タイガー史上最高の注ぎ心地を追求したグースネック型「蒸気レス電気ケトルPCZ-A080」を発売します。それに伴い、新製品発表会を2026年9月8日（火）に開催しました。



左から、電気ケトル商品開発担当 赤穂緑、電気ケトル商品企画担当 山崎文恵、ゲストであるUCCコーヒーアカデミー講師 福田雄也氏、電気ケトル事業 ブランドマネージャー 畑中了一

本製品は、独自の重心設計による繊細な湯量コントロールと、整流設計による乱れのない美しい流線を実現する「匠（たくみ）ドリップ」機能を搭載したグースネック型の電気ケトルです。カップ1杯を約45秒※1で沸かす業界最速のスピード沸とう※2と、グースネック型電気ケトル初※3の蒸気レス機能※4を兼ね備え、注ぎ心地・速さ・安全性のすべてにこだわった一台です。

イベント当日は、電気ケトル市場の動向や新製品の企画背景、製品特徴をタイガー魔法瓶担当者より紹介。ゲストにはUCCコーヒーアカデミー講師の福田雄也氏を迎え、ハンドドリップにおける「注ぎ」の重要性や、PCZ-A080ならではの注ぎ心地の魅力についてトークセッションを行いました。

また、発表会後には体験会を実施。来場者は「匠ドリップ」「スピード沸とう」「蒸気レス※4」の3つの体験ブースで、タイガーが提案する新しい注ぎ心地を実際に体感しました。

ゲスト：UCCコーヒーアカデミー講師

福田 雄也（ふくだ ゆうや）氏

2018年にUCC上島珈琲株式会社へ入社し、家庭用商品の量販店営業や原料営業を経験。
2025年よりUCCコーヒーアカデミー講師として、抽出技術やテイスティングをはじめとする幅広い講座を担当するほか、コーヒーイベントへの登壇も行う。UCCコーヒーアドバイザー、SCA認定Qグレーダーの資格を有する。



※1 2026年9月8日現在、家庭用電気ケトルにおいて水温・室温23度。定格消費電力にてカップ1杯分約140mLの沸とう時間（自社測定法）。

※2 2026年9月8日現在、日本国内で販売されている家庭用電気ケトルの各社公表資料（自社調査）の範囲において。

※3 2026年9月8日現在、日本国内で販売されている“家庭用”グースネック型電気ケトルの各社公表資料（自主調査）の範囲内において。

※4 続けて沸とうさせるなど、本体が温かいときに湯わかしをすると本体の底やスイッチのまわりから蒸気が出る場合があります。

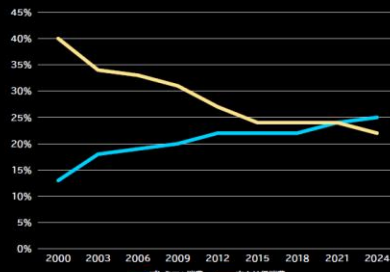
タイガーのブランドビジョンと、電気ケトル市場の変化





近年の消費者トレンド

気に入った付加価値には対価を払う
“こだわり志向のプレミアム消費”スタイルの増加



プレミアム消費 自分が気に入った付加価値には対価を払う
安さ納得消費 製品にこだわりはなく安くあればよい

家電に関するトレンド

- ✓ タイパ(タイムパフォーマンス)を向上させるほたら
かし家電への投資
- ✓ コロナ禍で定着した自宅時間の質向上という意識
が根強く残り、消費者のこだわりにささる少しの贅
沢を日常へ取り入れる家電が増加

電気ケトル事業 ブランドマネージャーの畑中一が登壇し、グローバルタグライン「HEAT TO HEART」と、電気ケトル事業のビジョン『ひとりひとりにあった、一杯のお湯の温もりを』を紹介。長年培ってきた熱制御技術と安全設計、そして今回新たに追求した「注ぎ心地」を融合させた新製品の企画背景について説明しました。

市場背景としては、小世帯化や省エネ需要の拡大を背景に手軽にお湯を沸かせる電気ケトル市場が拡大を続けていることに言及。あわせて、気に入った付加価値には対価を払う「プレミアム消費」の増加や、注ぎやすい細口(グースネック)タイプへの需要拡大など、電気ケトル市場における「こだわり」需要の高まりについても紹介しました。

また、2008年の市場参入以来、業界に先駆けて安全機能の強化を続けてきたタイガー魔法瓶の電気ケトル開発の歴史を振り返りました。電気ケトルの安全基準が完全変更となる2026年、満を持して投入するのが、注ぎ心地を極限まで高めたグースネックモデル「PCZ-A080<匠ドリップ>」であると説明しました。



PCZ-A080の製品特徴 — 「匠ドリップ」 「スピード沸とう」 「蒸気レス ※1」



続いて、タイガー魔法瓶 電気ケトル商品企画担当の山崎文恵が登壇し、「一滴、一線 思いのまま。」をテーマに、PCZ-A080の製品特徴について紹介しました。

ハンドドリップで豆本来の魅力を引き出す鍵は、「狙ったところに、適量を注ぐこと」にあると説明。さらに、蒸らし工程では全体に少量のお湯をまんべんなく注ぐこと、抽出工程ではコーヒー粉の層を崩さないように細くまっすぐ注ぐことの重要性を語りました。

また、「魔法の重心バランス」と「美流ノズル」により、持ち上げた瞬間に理想の角度へ導かれ、手首のわずかな動きで一滴から太めの流れまで思い通りに湯量を調整できる点を紹介。加えて、カップ1杯分約45秒※2の「スピード沸とう」や「蒸気レス機能※1」など、毎日の使いやすさと安全性についても訴求しました。

※1 続けて沸とうさせるなど、本体が温かいときに湯わかしをすると本体の底やスイッチのまわりから蒸気が出る場合があります。
※2 2026年9月8日現在、家庭用電気ケトルにおいて水温・室温23度。定格消費電力にてカップ1杯分約140mLの沸とう時間（自社測定法）。

トークセッション — UCC福田雄也氏に聞く「注ぎ」とコーヒーの味わい



トークセッションでは、UCCコーヒーアカデミー講師の福田雄也氏と、タイガー魔法瓶 電気ケトル商品企画担当の山崎文恵、商品開発担当の赤穂緑が登場。PCZ-A080を実際に手に取りながら、「注ぎ」がコーヒーの味わいに与える影響や、開発の裏側について語りました。

福田氏が語る、「お湯の注ぎ方」が生む味わいの違い

福田氏は、コーヒーの世界では「お湯の注ぎ方」が味わいを大きく左右すると説明。狙った場所に、狙った量を正確に注げることが、抽出の再現性や味わいの安定につながると紹介しました。この正確な注ぎにより、自分好みの最高の一杯を追求できる楽しさについても語りました。

開発秘話 — 「軽さ」と「安全性」を両立させた開発の2年間

開発を担当した赤穂は、「注ぎ心地」の実現にあたり、安全性を保ちながら軽さを両立させる点に最もこだわったと説明。タイガーとして初めてとなるグースネック型ケトルの開発に約2年を費やしたことを明かしました。

PCZ-A080がもたらす、毎日の暮らしの変化

企画担当の山崎は、グースネックケトル開発のきっかけとなったユーザーの声を紹介。蒸気レス※1ならではの置き場所の自由度や、安心して使いやすい安全性など、PCZ-A080が暮らしにもたらす変化を語りました。福田氏からは、ご自宅のコーヒーがもう一段美味しくなる淹れ方のワンポイントアドバイスも紹介されました。

体験会 — 「匠ドリップ（注ぎ）」「スピード沸とう」「蒸気レス※1（安全性）」

発表会後には、PCZ-A080の特長を実際に試せる体験会を実施しました。会場には、「匠ドリップ（注ぎ）」「スピード沸とう」「蒸気レス※1（安全性）」の3つの体験ブースを用意。

「匠ドリップ（注ぎ）」ブースでは、ハンドドリップを想定し、少量のお湯を細くまっすぐ注ぐ動作を体験。注ぎ始めから終わりまで湯の流れが乱れにくく、コーヒー抽出時に求められる繊細なコントロールを実感できる内容となりました。また、「スピード沸とう」ブースでは、カップ1杯分のお湯を約45秒※2で沸かせるPCZ-A080の沸とうスピードを紹介。「蒸気レス（安全性）※1」ブースでは、湯わかし時に蒸気を外に出さない構造を確認し、キッチンやダイニングなど置き場所を選びにくい点や、安心して使いやすい安全設計を訴求しました。

来場者は各ブースを回りながら、PCZ-A080が持つ"注ぎ心地・速さ・安全性"を多角的に体験。日常の一杯をより手軽に、よりこだわって楽しめる新しい電気ケトルとしての魅力を伝える機会となりました。



※1 続けて沸とうさせるなど、本体が温かいときに湯わかしをすると本体の底やスイッチのまわりから蒸気が出る場合があります。

※2 2026年9月8日現在、家庭用電気ケトルにおいて水温・室温23度。定格消費電力にてカップ1杯分約140mLの沸とう時間（自社測定法）。

一滴、一線、思いのまま。
タイガー史上最高の注ぎ心地“匠ドリップ”
蒸気レス電気ケトル PCZ-A080
2026年10月1日発売

熱制御テクノロジーで世界をリードするタイガー魔法瓶株式会社（CEO：菊池嘉聡、本社：大阪府門真市）は、「蒸気レス電気ケトルPCZ-A080」を2026年10月1日（木）に発売いたします。

当社は電気ケトルの市場に参入し、初代電気ケトルのPFV型を発売した2008年から安心設計にこだわった電気ケトルの開発を続けてまいりました。この度、安心設計はもちろん、注ぎの操作性と沸とう速度にこだわったタイガー魔法瓶において初のグースネック型の電気ケトルPCZ-A080を発売いたします。PCZ-A080は重心設計による湯量のコントロールと整流設計による乱れの少ない美しい流線を再現することができ、狙った場所へ狙った量のお湯を注ぐことが可能です。また、カップ1杯分約45秒※1で沸かず、業界最速のスピード沸とう※2。忙しい朝や家事の合間、急な来客時にも驚きの早さでお湯をすぐに沸かすことができます。

【主な特長】

お湯を思い通りにコントロールできる注ぎ心地を追求

①「魔法の重心バランス」と「美流（びりゅう）ノズル」によるこだわり設計

タイガー魔法瓶史上最高の「注ぎ」を求めて何度もの検証を重ねてこだわった重心設計と整流設計で、狙った場所へ狙った量のお湯を注ぐことが可能です。



沸くの速すぎ！タイガー驚速（きょうそく）電気ケトル

②カップ1杯分 約45秒※1 業界最速のスピード沸とう※2

タイガー魔法瓶独自のプリントヒーターによりスピード沸とうを実現。
忙しい朝や家事の合間、急な来客時にもすぐに沸かせます。



蒸気によるやけどのリスクを減らし、置き場所にも困らない。

③グースネック型電気ケトル初※3の蒸気レス機能※4

タイガー魔法瓶の電気ケトルは安全設計が基本。グースネック型電気ケトルでは初※3となる蒸気レス機能※4によるもしもに備えた設計で、小さなお子さまやペットのいるご家庭でも安心してお使いいただけます。



●蒸気レス※4

タイガー魔法瓶の独自技術により、蒸気を本体の外に出さないで、蒸気によるやけどのリスクを減らし、置き場所にも困りません。

※1 2026年9月8日現在、家庭用電気ケトルにおいて水温・室温23度。定格消費電力にてカップ1杯分約140mlの沸とう時間（自社測定法）。

※2 2026年9月8日現在、日本国内で販売されている家庭用電気ケトルの各社公表資料（自社調査）の範囲において。

※3 2026年9月8日現在、日本国内で販売されている“家庭用”グースネック型電気ケトルの各社公表資料（自主調査）の範囲内において。

※4 続けて沸とうさせるなど、本体が温かいときに湯わかしをすると本体の底やスイッチのまわりから蒸気が出る場合があります。

PCZ-A080 製品ページ：

<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/product/kettle-pot/pcz-a/>

沸くの速すぎ！タイガー驚速電気ケトル特集ページ：

<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/feature/kettle/>



Web <https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/about-us/tagline/>
Movie <https://youtu.be/o7qqhZrkqss>

できたてに、ちゃんとふたをする。
そこには、誰かを想う気持ちが隠れている。
家族に、炊きたてのごはんを。
仲間に、あつあつのコーヒーを。
自分に、ひんやりとしたソーダを。
温かさと冷たさ。
熱から生まれたものが、人と人とをつなぐ。
わたしたちが目指す幸せな団らんは、そこから始まる。
熱を生み、熱を包みこむ。
タイガーが磨き続けてきた熱制御技術。
それは、大切な人と想いを通わせるための技術。
この熱が、あなたの心に届きますように。